

良知館通信 ⑥

儒式祭典

山本 義雄

儒式祭典は毎年九月二十五日に、わが国では珍しい文公家礼（宋の時代に書かれた儒家の礼儀作法の本）により厳粛に執り行われる。



藤樹先生の命日は八月二十五日、明治の初めまではこの日に行われていた。明治になって暦が太陽暦に改められたり、生徒たちが参拝するよう

になって、明治十一年（一八七八）から九月二十五日に例祭が行われるようになったと記録にある。

儒教における「死」は、肉体の呼吸停止が始まる（心臓死を意味）と一致していた魂（こん）と魄（はく）とが分離し、魂は天上に魄は地下へと行く。これが死である。礼制として三年の喪というものがある。（論語の陽貨編にあり）三年の実態は二十五ヶ月である。その二十五ヶ

月とは足かけであるから満二年プラス一日のことである。儒教では、死後の日数の数え方は死の前日から数える。（礼記、曲礼上編）三年の喪とは、満二年目の忌日ということを決して満三年ではない。仏教もこの数え方を取り入れている。

藤樹全集によると、延享四年（一七四七）藤樹先生百年祭を修む。寛政九年（一七九七）藤樹先生百五十年祭を修む。光格天皇から「徳本堂」の堂号を賜る。明治維新の忙しの際にあつても藤樹先生に対する敬虔の念、少しも変わることなく祭祀執り行われた。明治三十年（一八九七）藤樹先生二百五十年祭を修む。



藤樹先生二百五十年祭式

右百五十年及二百年度の儀式を遵守するに其裝飾舗設作法細部等詳ならず因て今、京都明倫舎の恒式を酌量し以て草するものなり但饅品に至りては時宜に従ひ国禮に拠ると云う。明治三十年八月出雲路輿通とある。二百五十年祭より、口伝から現在行われている祭式が定まった。又本年は三百七十年祭となる。

賛助会員一覧

新規賛助会員

- ◎川島酒造株式会社（新旭町旭）
ご協力ありがとうございます
- ◎ウエストレイクホテル可以登楼
- ◎株式会社 大山建設
- ◎株式会社 桑原組
- ◎有限会社 宏和商事
- ◎税理士法人・小畑会計事務所
- ◎有限会社 白浜荘
- ◎社会福祉法人 新旭みのり会
- ◎ソエダ 株式会社
- ◎株式会社 TADコーポレーション
- ◎鉄屋商事 株式会社
- ◎株式会社 戸井薬局
- ◎とも栄 藤樹街道本店
- ◎中村印刷 株式会社
- ◎株式会社 中村測量設計
- ◎ニッケイ工業 株式会社
- ◎八田建設 株式会社
- ◎有限会社 馬場塗装
- ◎三田村印刷 株式会社
- ◎有限会社 綿庄食品店

（五十音順）

あとがき

縄文杉の生命力はどこから？

八月にNHKの「大捜索ドキュメン ト！屋久島伝説の超巨大杉」を見ました。世界遺産・屋久島の象徴である所謂「縄文杉」。それに勝る未発見の超巨大杉を最新科学で捜すというものです。この番組の中で、気になったお話がありました。

岩の上に覆いかぶさるように生える屋久杉を見ながら、新潟大学教授崎尾均さんが語られました。「土壌がないから成長がうんと遅い」「その遅いのが逆に年輪が緻密になって腐りにくい幹を作る」と。

特に「縄文杉」は、高さ約二十五m、幹周十六m、推定樹齢二千〜七千二百年とのことです。七千二百年、この地球上で一個体がこれだけ長く生き延びてきた例は、他にないでしょう。縄文の時代から現代まで生き通すということなのです。その生命力はどこから来るのでしょうか。

普通、堆積や浸食等をくり返す地表が、数千年も杉を支えられません。地表が変わりにくい岩から成る屋久島では、杉は養分を求めて岩のあらゆる隙間に根を張りめぐらせ、じつくり緻密な年輪を刻みます。毎年、夏の暑さと湿気と数々の台風に耐えて、一段と「根」を張り続けます。人間にとっての「根」とは何でしょうか。（H・M）